



大津市大河ドラマ
「光る君へ」
活用推進協議会

問い合わせ先

2024年11月21日

担当	大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会 (事務局 大津市観光振興課) 担当 伏見・金城・門坂
連絡先	077-528-2756 (内線) 3446

来館者数**20万人**突破！ 「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」**11/14リニューアル** ～まひろ（紫式部）の宮仕えの日々を感じる展示物が登場～

2024年1月29日（月）に石山寺境内にオープンした「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」/（同時開催）源氏物語 恋するもののあはれ展」の来館者数が、11月14日（木）に20万人を突破！
同日、「大河ドラマ館」のリニューアルも行い、新たな展示で皆様をお迎えしています。



まひろ（紫式部）の宮仕えの日々を感じる展示物が新たに登場！

- ① 【衣装】ドラマの第42回からまひろ（紫式部）が着用している女房装束（十二単）（撮影使用品）
- ② 【小道具】まひろ（紫式部）や彰子の手で美しく綴じられた『源氏物語』（撮影使用品）
- ③ 【小道具】まひろ（紫式部）が藤壺で使用している書道具（撮影使用品）

リニューアル内容

① 【衣装】まひろ（紫式部）の女房装束（十二単） （撮影使用品）

ドラマ第42回「川辺の誓い」からまひろ（紫式部）が着用している女房装束（十二単）。

深い紫色が印象的な正絹の衣装（撮影使用品）が見られるのは、大津の「大河ドラマ館」だけ！必見です！



② 【小道具】『源氏物語』の“豪華版” （撮影使用品）

まひろ（紫式部）や彰子の手で美しく綴じられた“豪華版”『源氏物語』。

巻ごとに異なる色の料紙や中に書かれた繊細な文字など、隅々までじっくりお楽しみいただけます。

『源氏物語』執筆中の原稿も引き続き展示しているため、あわせてご覧ください。



③ 【小道具】まひろが藤壺で使用する書道具 （撮影使用品）

まひろ（紫式部）が藤壺で『源氏物語』を執筆するために藤原道長が用意した書道具。

三日月の形が特徴的な硯、牛車の形をした筆置きなど、細部までこだわった小道具を間近でご覧ください。



リニューアルした「大河ドラマ館」へお越しの方にオススメ情報

●「光る大津スペシャル周遊セット」がお得！！

紅葉シーズンは駐車場が大変混み合うため、公共交通機関でのお越しをおすすめします。

びわ湖大津を電車でお得に巡ることができる「光る大津スペシャル周遊セット」を石山駅観光案内所、大津駅観光案内所で発売中。

「大河ドラマ館/（同時開催）恋するもののあはれ展入館券」「石山寺入山券」「三井寺特別拝観券」に「京阪電車石山坂本線1日フリーチケット」が含まれています。

（詳細はこちら：<https://otsu-murasakishikibu.jp/news/detail63>）



●紅葉ライトアップ「あたら夜もみじ」開催中！

石山寺では、12月1日（日）まで紅葉ライトアップ「あたら夜もみじ」を開催中。期間中は「大河ドラマ館/（同時開催）恋するもののあはれ展」も夜間開館します。

（詳細はこちら：<https://otsu-murasakishikibu.jp/news/detail69>）



「大河ドラマ館」 館内写真



基本情報

展示名称：光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館/[同時開催] 源氏物語 恋するもののあはれ展

開催期間：2024年1月29日（月）～2025年1月31日（金）※期間中、原則無休

開催時間：9:00～17:00（最終入場16:30）

開催場所：石山寺境内（明王院・世尊院）（滋賀県大津市石山寺1丁目1-1）

アクセス：JR石山駅/京阪電車 京阪石山駅から京阪バスで約10分「石山寺山門前」バス停下車すぐ
または、京阪電車 石山寺駅から徒歩約10分

入館料：大人（中学生以上）600円、小人（小学生）300円

※石山寺に参拝する場合は別途入山料が必要

主催：大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会

公式HP：<https://otsu-murasakishikibu.jp/>

